

平成20年7月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成20年5月23日

上場会社名 ゼネラルパッカー株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 6267 URL <http://www.general-packer.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅森 輝信
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小関 幸太郎 TEL (0568)23-3111 (代表)

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年7月期第3四半期の業績（平成19年8月1日～平成20年4月30日）

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年7月期第3四半期	2,398	(△18.8)	30	(△73.1)	43	(△62.7)	18	(△74.5)
19年7月期第3四半期	2,953	(△9.1)	113	(△44.7)	116	(△45.0)	71	(△43.2)
19年7月期	4,074		211		213		118	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年7月期第3四半期	2	02	—	—
19年7月期第3四半期	7	92	—	—
19年7月期	13	17	—	—

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため、記載しておりません。

2. 当四半期数値は監査法人による監査を受けておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭
20年7月期第3四半期	4,199		2,730		65.0	303	73
19年7月期第3四半期	4,597		2,735		59.5	304	29
19年7月期	4,539		2,782		61.3	309	50

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による	投資活動による	財務活動による	現金及び現金同等物
	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年7月期第3四半期	△208	△311	△62	614
19年7月期第3四半期	△126	△39	△57	1,347
19年7月期	△137	△175	△61	1,196

2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
	第3四半期末	
(基準日)	円	銭
19年7月期第3四半期	—	—
20年7月期第3四半期	—	—

3. 平成20年7月期の業績予想(平成19年8月1日～平成20年7月31日) 【参考】

前回公表(平成20年3月6日付 平成20年7月期 中間決算短信(非連結))の業績予想を修正いたします。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	3,500	△14.1	115	△45.7	125	△41.4	48	△59.5	5	34

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の修正を行っています。

なお、業績予想の修正につきましては、本日付にて発表しました「平成20年7月期(非連結)業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期における包装機械業界におきましては、原油価格高騰による包装材料のコスト増や食品原材料の高騰などを背景に、需要業界の設備投資計画の見直しが見られるなど、依然として設備投資需要は低調に推移いたしました。

このような市場環境の中で、当社の主力事業であるドライ分野の高機能・高価格な包装機械の国内需要は、特に食品業界の中小企業を中心に減退傾向が一層強まりました。

当第 3 四半期における業績は、中間期で前年同期に対して大幅な減収・減益になるとともに、第 3 四半期(平成 20 年 2 月から 4 月まで)の業績も伸び悩んだことから、前年同四半期を下回る結果となりました。

売上高につきましては、前期末の受注残高が少なかったことと、当期に入って一部大型案件の受注が回復するものの、中小企業向けを中心とした中小型案件の受注が低調であったことから、販売台数が大幅に減少し、前年同四半期に対し 554 百万円の減収となりました。

また、損益面につきましては、売上高が低迷する中で販売費及び一般管理費の抑制と売上総利益率の増加に努めましたが、売上高の減少に伴い売上総利益が大幅に減少したことから、経常利益は減益となりました。

以上の結果、当第 3 四半期の売上高は 2,398 百万円、経常利益は 43 百万円、四半期純利益は 18 百万円となりました。

なお、当社の各四半期の売上高は、受注案件の売上計上時期の偏りと高額案件の有無等により、大きく変動する傾向にあります。一方、販売費及び一般管理費は比較的に変動が少ないことから、利益につきましても、売上高に大きく影響するため、各四半期の業績は大きく変動する傾向があります。当期につきましては、各四半期の売上高の増減の影響により、第 1 四半期(平成 19 年 8 月から 10 月まで)に大幅な経常損失が発生する一方、第 4 四半期(平成 20 年 5 月から 7 月まで)に経常利益が偏る傾向となっています。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第 3 四半期末における流動資産の残高は 2,932 百万円となり、前第 3 四半期末に比べ 468 百万円減少いたしました。この主たる要因は、本社隣接地の新工場建設に伴う支出や、営業活動によるキャッシュ・フローのマイナス等により現金及び預金残高が前第 3 四半期末に比べ 667 百万円減少したことによります。

固定資産につきましては、当第 3 四半期末残高は 1,267 百万円となり、前第 3 四半期末に比べ 70 百万円増加いたしました。この主たる要因は、本社隣接地における新工場建設により有形固定資産が 111 百万円増加したことによります。

当第3四半期末における流動負債の残高は1,262百万円となり、前第3四半期末に比べ379百万円減少いたしました。この主たる要因は、売上高の減少に伴い仕入債務が前第3四半期末に比べ170百万円減少したこと等によります。

固定負債につきましては、当第3四半期末残高は207百万円となり、前第3四半期末に比べ12百万円減少いたしました。この主たる要因は、退任取締役に対する役員退職慰労金の支給により、役員退職慰労引当金が15百万円減少したことによります。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の減少等により、前第3四半期末に比べ5百万円減少し、2,730百万円となりました。

これらの結果、当第3四半期末の総資産及び負債純資産合計は4,199百万円となり、前第3四半期末に比べ397百万円減少いたしました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期における当社の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、仕入債務の減少や有形固定資産の取得による支出等により前第3四半期末に比べ733百万円減少し、当第3四半期末には614百万円（前年同期比54.4%減）となりました。

また当第3四半期における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は208百万円となり、前第3四半期の資金使用126百万円に比べ82百万円使用資金が増加いたしました。この主たる要因は、売上債権の減少額が前第3四半期の305百万円に対し、当第3四半期は15百万円に止まったことや、仕入債務の減少額が前第1四半期の412百万円から当第3四半期は212百万円となったものの、前第3四半期においては116百万円の税引前四半期純利益を計上していることに対し、当第3四半期は29百万円の計上となっていること、また、たな卸資産が前第3四半期の8百万円増加に対し、当第3四半期においては68百万円増加していること等により、使用資金の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は311百万円となり、前第3四半期の資金使用39百万円に比べ271百万円資金使用が増加いたしました。これは、有形固定資産の取得による支出が前第3四半期の12百万円から当第3四半期においては291百万円と大幅に増加したことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は62百万円となり、前第3四半期の資金使用57百万円に比べ4百万円増加いたしました。これは、前第3四半期の配当金の支払額が56百万円であったことに対し、当第3四半期における配当金の支払額は62百万円と増加したことによります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成 20 年 7 月期の業績予想につきましては、平成 20 年 3 月 6 日発表「平成 20 年 7 月期中間決算短信(非連結)」の業績予想を上記の通り修正しております。

なお、業績予想の修正につきましては、本日付にて発表しました「平成 20 年 7 月期(非連結)業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ・たな卸資産の計上は、当中間会計期間末の实地棚卸高を基準に算出した帳簿たな卸高によっております。
- ・固定資産の減価償却費は、年度見込額のうち期間対応分を計上しております。
- ・その他影響額が僅少なものについては、一部簡便的な方法によっております。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

科 目	前年同四半期末 (平成19年7月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年7月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年7月期末)
	金 額 (千円)	金 額 (千円)	金 額 (千円)	増減率 (%)	金 額 (千円)
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金	1,347,953	680,685	△667,268		1,196,942
2 受取手形及び売掛金	897,959	1,092,247	194,287		1,107,282
3 たな卸資産	992,413	968,172	△24,240		899,681
4 未収入金	106,540	132,612	26,071		96,413
5 その他	55,861	58,658	2,797		39,944
貸倒引当金	△21	△23	△2		△25
流動資産合計	3,400,708	2,932,352	△468,356	△13.8	3,340,239
II 固定資産					
1 有形固定資産	864,553	976,408	111,854		857,928
2 無形固定資産	2,187	6,902	4,714		2,106
3 投資その他の資産	329,785	284,108	△45,676		339,136
固定資産合計	1,196,526	1,267,419	70,892	5.9	1,199,171
資産合計	4,597,235	4,199,771	△397,463	△8.6	4,539,410

科 目	前年同四半期末 (平成19年7月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年7月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年7月期末)
	金 額 (千円)	金 額 (千円)	金 額 (千円)	増減率 (%)	金 額 (千円)
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形及び買掛金	1,035,941	865,044	△170,897		1,077,664
2 賞与引当金	90,626	77,197	△13,429		30,219
3 製品保証引当金	—	11,833	11,833		—
4 その他	515,520	308,178	△207,341		426,939
流動負債合計	1,642,088	1,262,254	△379,834	△23.1	1,534,823
II 固定負債					
1 退職給付引当金	12,028	15,289	3,261		12,085
2 役員退職慰労引当金	207,750	191,935	△15,815		210,300
固定負債合計	219,778	207,224	△12,553	△5.7	222,385
負債合計	1,861,867	1,469,479	△392,387	△21.1	1,757,209
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	251,577	251,577	—		251,577
2 資本剰余金	282,269	282,269	—		282,269
3 利益剰余金	2,182,525	2,184,957	2,432		2,229,692
4 自己株式	△1,423	△1,423	—		△1,423
株主資本合計	2,714,947	2,717,380	2,432	0.1	2,762,115
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	20,420	12,911	△7,508		20,086
評価・換算差額等合計	20,420	12,911	△7,508	△36.8	20,086
純資産合計	2,735,368	2,730,291	△5,076	△0.2	2,782,201
負債純資産合計	4,597,235	4,199,771	△397,463	△8.6	4,539,410

(2) (要約) 四半期損益計算書

科 目	前年同四半期 (平成19年7月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年7月期 第3四半期)	増 減		(参考) 前期 (平成19年7月期)
	金 額 (千円)	金 額 (千円)	金 額 (千円)	増減率 (%)	金 額 (千円)
I 売上高	2,953,553	2,398,842	△554,711	△18.8	4,074,530
II 売上原価	2,184,166	1,737,861	△446,305	△20.4	2,987,721
売上総利益	769,386	660,980	△108,405	△14.1	1,086,808
III 販売費及び一般管理費	655,690	630,387	△25,303	△3.9	875,105
営業利益	113,696	30,593	△83,102	△73.1	211,703
IV 営業外収益	6,766	14,211	7,444	110.0	8,966
V 営業外費用	3,467	1,125	△2,341	△67.5	7,485
経常利益	116,995	43,679	△73,315	△62.7	213,184
VI 特別利益	4	1	△3	△73.5	9
VII 特別損失	380	14,677	14,297	3,762.3	5,680
税引前四半期(当期)純利益	116,620	29,003	△87,616	△75.1	207,512
税金費用	45,394	10,814	△34,580	△76.2	89,119
四半期(当期)純利益	71,225	18,189	△53,036	△74.5	118,392

(3) 四半期株主資本等変動計算書

前第3四半期(自平成18年8月1日至平成19年4月30日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金	
				別途積立金	繰越利益剰余金
平成18年7月31日残高(千円)	251,577	282,269	11,000	1,850,000	308,734
当四半期中の変動額					
剰余金の配当					△58,434
四半期純利益					71,225
自己株式の取得					
別途積立金の積立				100,000	△100,000
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)					
当四半期中の変動額合計(千円)	—	—	—	100,000	△87,208
平成19年4月30日残高(千円)	251,577	282,269	11,000	1,950,000	221,525

	株主資本		評価・換算差額等	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
平成18年7月31日残高(千円)	△951	2,702,628	26,070	2,728,699
当四半期中の変動額				
剰余金の配当		△58,434		△58,434
四半期純利益		71,225		71,225
自己株式の取得	△472	△472		△472
別途積立金の積立		—		—
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)			△5,650	△5,650
当四半期中の変動額合計(千円)	△472	12,319	△5,650	6,668
平成19年4月30日残高(千円)	△1,423	2,714,947	20,420	2,735,368

当第3四半期(自平成19年8月1日至平成20年4月30日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金	
				別途積立金	繰越利益剰余金
平成19年7月31日残高(千円)	251,577	282,269	11,000	1,950,000	268,692
当四半期中の変動額					
剰余金の配当					△62,924
四半期純利益					18,189
別途積立金の積立				50,000	△50,000
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)					
当四半期中の変動額合計(千円)	—	—	—	50,000	△94,735
平成20年4月30日残高(千円)	251,577	282,269	11,000	2,000,000	173,957

	株主資本		評価・換算差額等	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
平成19年7月31日残高(千円)	△1,423	2,762,115	20,086	2,782,201
当四半期中の変動額				
剰余金の配当		△62,924		△62,924
四半期純利益		18,189		18,189
別途積立金の積立		—		—
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)			△7,174	△7,174
当四半期中の変動額合計(千円)	—	△44,735	△7,174	△51,909
平成20年4月30日残高(千円)	△1,423	2,717,380	12,911	2,730,291

(4) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

区 分	前年同四半期 (平成19年7月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年7月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年7月期)
	金 額(千円)	金 額(千円)	金 額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税引前四半期(当期)純利益	116,620	29,003	207,512
2 減価償却費	17,836	42,846	23,848
3 役員賞与引当金の減少額	△31,000	△21,000	△10,000
4 役員退職慰労引当金の減少額	△19,439	△18,364	△16,890
5 売上債権の減少額	305,983	15,035	96,770
6 たな卸資産の減少額(増加額△)	△8,860	△68,491	83,872
7 未収入金の減少額(増加額△)	△6,890	△36,198	351
8 仕入債務の減少額	△412,086	△212,620	△370,363
9 前受金の増加額(減少額△)	4,205	37,935	△27,225
10 その他	31,121	49,452	△2,079
小計	△2,510	△182,401	△14,203
11 法人税等の支払額	△124,830	△27,182	△125,121
12 その他	1,162	1,302	2,047
営業活動によるキャッシュ・フロー	△126,178	△208,281	△137,277
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 定期預金の預入による支出	△27,000	△27,000	△36,005
2 有形固定資産の取得による支出	△12,107	△291,222	△138,342
3 無形固定資産の取得による支出	△300	△217	△300
4 その他	△531	6,516	△531
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,938	△311,923	△175,179
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 自己株式の取得による支出	△472	—	△472
2 配当金の支払額	△56,625	△62,057	△58,580
3 その他	—	—	△2,716
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,097	△62,057	△61,768
IV 現金及び現金同等物の減少額	△223,213	△582,262	△374,225
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,571,167	1,196,942	1,571,167
VI 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高	1,347,953	614,679	1,196,942